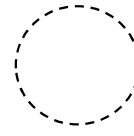


児童手当・特例給付の受給資格に係る申立書
(児童の海外留学)



横浜市長

年 月 日

請求者(申立人)

住 所 _____ 区 _____

フリガナ
氏 名 _____

生年月日 _____ 昭和・平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生

電話番号 _____ - _____ - _____

私は、児童手当法(昭和46年法律第73号)第3条の規定に基づき留学により国外に居住している児童を監護し、かつ、生計を同じくしていることについて、当該事実を証明する書類を添えて、次のとおり申し立てます。

記載内容が事実と異なっていた場合は、児童手当・特例給付の認定の取消し及び支給済みの手当の返還等に応じます。

留学している児童の状況	フリガナ		性別	男・女	生年月日	平成 年 月 日
	氏 名					
	留学期間(予定) ※準備期間含む	平成・令和 年 月 日から平成・令和 年 月 日 (日本国内に住所を有しなくなった日) (再び日本国内に住所を有する予定日)				
	留学している 教育機関等の名称					
	留学の目的					
	留学先の 国名・居住地					
	留学先で児童と 同居している者 (児童との続柄)	・ _____ (続柄:) ・ _____ (続柄:) ・ _____ (続柄:)				

留学前の 国内居住状況	①	平成・令和 年 月 日 から平成・令和 年 月 日(直近)
	住所:	_____
	②	平成・令和 年 月 日 から平成・令和 年 月 日
住所:	_____	
③	平成・令和 年 月 日 から平成・令和 年 月 日	
住所:	_____	

※ 「留学期間(予定)」は、「留学をするために日本に住所を有しなくなった日」から「留学を終了し再び日本国内に住所を有する予定日」を記入してください。(支給は、日本国内に住所を有しなくなった日から3年以内の児童に限ります)

※ 「児童と同居している者の氏名(続柄)」は、留学先の住居において、児童と同居している全ての者について記入してください。なお、児童がその父、又は母(あるいは未成年後見人)と同居している場合は、支給要件児童にはなりません。

※ 「留学前の国内居住状況」は、留学する前日から遡って過去3年間を超える期間について、住民票上の住所を記入してください。ただし、留学する前日までに引き続き3年を超えて国内に住所を有しなかった場合は、過去6年間の海外居住期間も含む居住状況(日本国内の居住状況については住民票上の住所)を記入してください。

(裏面に続く)

※横浜市の使用欄	入力者	確認者
福祉コード _____		

[児童手当・特例給付の受給資格に係る申立書（児童の海外留学） 裏面]

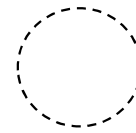
父母等の状況	フリガナ	続柄	生年月日			住所	
	氏名		年	月	日		
				平成・昭和			
				平成・昭和			
	監護の状況 (面会の頻度など)						
	生計関係の状況 (生活費の送金状況等)						

※ 「父母等の状況」は、児童の父母について記入するほか、児童に未成年後見人がある場合は、当該未成年後見人についても記入してください。

添付書類	下記の書類全てが必要です(添付したものに「✓」をつけてください。)
	<input type="checkbox"/> 留学の事実がわかる書類（留学先の在学証明書等） <small>※児童の氏名、留学先の教育機関等の名称及び留学期間が記載された証明書類（原本）を添付してください。</small>
	<input type="checkbox"/> 留学前の国内居住状況がわかる書類（戸籍の附票の写し、国内の学校における在学証明書等） <small>※日本国内に住所を有しなくなった日の前日までの過去6年間において、本市に引き続き住所を有していた場合は不要です。</small>
	<input type="checkbox"/> 留学先の在学証明書等の翻訳書（外国語で記載されている場合） <small>※日本国内に居住する第三者（親族以外）の方が作成した翻訳書（原本）を併せて添付してください。 （当該翻訳書に翻訳者の署名、押印及び電話番号と住所を必ず記入してください。）</small>

【記入例】

児童手当・特例給付の受給資格に係る申立書 (児童の海外留学)



横浜市長

令和 4年 5月 6日

請求者 (申立人)

住所 中区 本町6-50-10

フリガナ ヨコハマ タロウ
氏名 横浜 太郎

生年月日 昭和・平成 58年 12月 10日 日生

電話番号 090 - 1234 - 〇△□×

私は、児童手当法（昭和46年法律第73号）第3条の規定に基づき留学により国外に居住している児童を監護し、かつ、生計を同じくしていることについて、当該事実を証明する書類を添えて、次のとおり申し立てます。

記載内容が事実と異なっていた場合は、児童手当・特例給付の認定の取消し及び支給済みの手当の返還等に応じます。

留学している児童の状況	フリガナ	<u>ヨコハマ イチロウ</u>	性別	<input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女	生年月日	平成 <u>20</u> 年 <u>10</u> 月 <u>10</u> 日
	氏名	<u>横浜 一郎</u>				
	留学期間 (予定) ※準備期間含む	平成・ <u>令和</u> <u>4</u> 年 <u>5</u> 月 <u>7</u> 日 から 平成・ <u>令和</u> <u>5</u> 年 <u>3</u> 月 <u>31</u> 日 (日本国内に住所を有しなくなった日) (再び日本国内に住所を有する予定日)				
	留学している教育機関等の名称	<u>〇〇ハイスクール</u>				
	留学の目的	<u>語学習得のため</u>				
	留学先の国名・居住地	<u>アメリカ 〇〇州〇〇市〇〇番地〇〇号室</u>				
	留学先で児童と同居している者 (児童との続柄)	・ <u>横浜 四郎</u> (続柄: <u>叔父</u>) ・ _____ (続柄: _____) ・ _____ (続柄: _____)				
留学前の国内居住状況	① <u>平成・令和 20</u> 年 <u>10</u> 月 <u>10</u> 日 から 平成・ <u>令和</u> <u>4</u> 年 <u>5</u> 月 <u>6</u> 日 (直近) 住所: <u>横浜市中区本町6-50-10</u> ② 平成・令和 _____年 _____月 _____日から 平成・令和 _____年 _____月 _____日 住所: _____ ③ 平成・令和 _____年 _____月 _____日から 平成・令和 _____年 _____月 _____日 住所: _____					

※ 「留学期間 (予定)」は、「留学をするために日本に住所を有しなくなった日」から「留学を終了し再び日本国内に住所を有する予定日」を記入してください。(支給は、日本国内に住所を有しなくなった日から3年以内の児童に限ります)

※ 「児童と同居している者の氏名 (続柄)」は、留学先の住居において、児童と同居している全ての者について記入してください。なお、児童がその父、又は母 (あるいは未成年後見人) と同居している場合は、支給要件児童にはなりません。

※ 「留学前の国内居住状況」は、留学する前日から遡って過去3年間を超える期間について、住民票上の住所を記入してください。ただし、留学する前日までに引き続き3年を超えて国内に住所を有しなかった場合は、過去6年間の海外居住期間も含む居住状況 (日本国内の居住状況については住民票上の住所) を記入してください。

(裏面に続く)

※横浜市使用欄	入力者	確認者
福祉コード _____		

フリガナ 氏名	続柄	生年月日	住所
ヨコハマ ハナコ 横浜 花子	母	昭和 62年 12月 12日 平成	横浜市中区本町6-50-10
監護の状況 (面会の頻度など)	1年に2回、夏休みと冬休みを利用して、一時帰国又は赴き面会予定		
生計関係の状況 (生活費の送金状況等)	学費とは別に毎月6万円を叔父に送金し生活費に充ててもらっている		

※ 「父母等の状況」は、児童の父母について記入するほか、児童に未成年後見人がいる場合は、当該未成年後見人についても記入してください。

添付書類	下記の書類全てが必要です(添付したものに「✓」をつけてください。)
	<input checked="" type="checkbox"/> 留学の事実がわかる書類（留学先の在学証明書等） ※児童の氏名、留学先の教育機関等の名称及び留学期間が記載された証明書類（原本）を添付してください。
	<input checked="" type="checkbox"/> 留学前の国内居住状況がわかる書類（戸籍の附票の写し、国内の学校における在学証明書等） ※日本国内に住所を有しなくなった日の前日までの過去6年間において、本市に引き続き住所を有していた場合は不要です。
	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先の在学証明書等の翻訳書（外国語で記載されている場合） ※日本国内に居住する第三者（親族以外）の方が作成した翻訳書（原本）を併せて添付してください。 （当該翻訳書に翻訳者の署名、押印及び電話番号と住所を必ず記入してください。）